

府中市健康地域づくり審議会
第20回熟年元気づくり分科会 報告書

1 分科会の概要

- (1)日 時：令和2年2月19日（水）15時00分から16時30分まで
(2)場 所：市役所4階第二委員会室
(3)出席者：宮 口 英 昭（分科会会長） 河 本 幹 男（分科会副会長）
重 森 由 枝（分科会委員） 藤 本 命 壮（分科会委員）
前 原 裕 吉（分科会委員） 守 屋 綾 子（分科会委員）
樽 好 美 子（分科会委員）
(4)欠席者：谷 秀 樹（職 権 委 員）

2 概要

(1)開 会

(2)分科会会長あいさつ

(3)議事

①令和元年度熟年元気づくり分科会の活動について

●関係資料の説明

事務局から「政策指標・重点項目の概要について」について、資料により説明を行った。

②令和元年度の取り組みについて

ア. 生きがい創出事業補助金

●関係資料の説明

事務局から「生きがい創出事業補助金」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○地域ではサロン等の活動をされている。そういったところに事業についての紹介を行ってはどうか。

○地域でどのようなことができるか考えていくことが必要。今後も活動内容については、継続して注目していくように。

イ. プラチナ大学

●関係資料の説明

事務局から「プラチナ大学」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 事業を始めた人の経験談を取り入れることで、身近な講座になるのではないかと。
- 上下の人も参加できるようになると良い。
- 講座を受講した人でリーダーをされる人は少ない。それぞれの人が繋がって活動されると良いのではないかと。

ウ. 高齢者と親子が関わる多世代交流事業

●関係資料の説明

事務局から「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 地域のありふれたものでも価値があることを知ることができる良い活動だと思ふ。価値に気づけば継続に繋がっていく。
- 各地にこういう取り組みを紹介し、難しいことでも、出来ることをやることに意義があることを広めていくべき。

③令和2年度の取り組みについて

ア. 生きがいライフ事業

●関係資料の説明

事務局から「生きがいライフ事業」について、資料により説明を行い、意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 社会福祉協議会で実施しているすけっとやとの違いを出す必要がある。
- 高齢者がグループになって働いている事例もある。雇用側としては、短時間の労働力をシルバーが仲介してくれるとありがたい。
- シルバーの会員であれば、個人事業主になるので、働きやすさもあるのでは。

イ. 地域の担い手育成事業

●関係資料の説明

事務局から「地域の担い手育成事業」について、資料により説明を行った。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

○地域の担い手事業の中に、これまでの「プラチナ大学」と「生きがい創出事業」が含まれているということか。

(4)閉会

事務局のまとめとして、「生きがい創出事業補助金」、「プラチナ大学」、「高齢者と親子が関わる多世代交流事業」へのご指摘・ご意見等を来年度の運営に活かしていくとともに、令和2年度の取り組み施策等については、審議会への報告事項とする旨を述べた。

河本副会長から、「就労と地域の担い手、それぞれの視点で今日頂いた意見を活かしていただきたい」と挨拶があり、閉会とした。